

広 報

# みなみふらの

# 4

2026.APRIL No.841



支えてくれた人への感謝とともに  
「南富良野小学校 卒業証書授与式」  
(3月19日)

# 新しく住み始めた人にも、町内会



# あなたの参加が、まちの力になる!!

町では、豊かで活力ある地域社会の実現を目指し、町民と行政が力を合わせて取り組む「協働と共創のまちづくり」を推進しています。その一環として、南富良野町では、住民が自主的に組織する自治会活動を支援・促進することを目的に、「南富良野町自治会活動推進条例」を制定しています。

町民との協働を進めるうえで、最も身近な地域コミュニティが「町内会」です。町内会は、地域における支え合いや助け合いの基盤となる存在であり、町民と行政をつなぐ大切な役割を担っています。

各地区の町内会では、それぞれが工夫を凝らし、住みよいまちづくりを目指してさまざまな活動を行っています。

近年、地域社会を取り巻く課題は多様化しており、町内会では防災活動や高齢者・子どもの見守りといった防犯対策に加え、世代を超えた交流を促す居場所づくりにも取り組んでいます。地域住民が気軽に集い、交流できるイベントを開催することで、顔の見える関係を築き、人と人とのつながりや

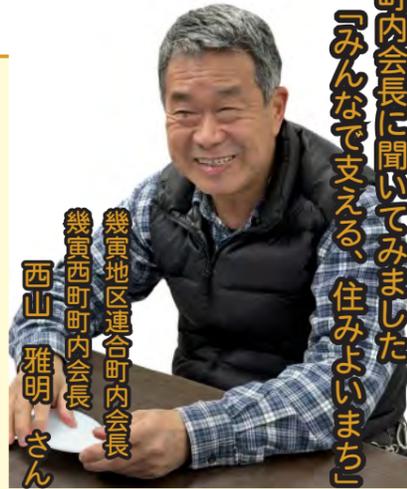
絆を育んでいます。

また、大規模災害から命を守るためには、一人ひとりが自らの身を守る「自助」に加え、地域の人々が協力し合う「共助」が欠かせません。日頃から防災活動に力を入れていく町内会は、身近な地域で「共助」を実践する重要な存在です。

一方で、人口減少や少子高齢化の進行、ライフスタイルの変化などにより、全国的に地域のつながりが希薄になりつつあります。本町においても、町内会役員の高齢化や担い手不足、次世代を担う人材の確保が課題となっており、地域コミュニティを将来にわたって維持していくための対応が求められています。

地域のあたたかさや支え合いの心を次の世代へ引き継いでいくために、そして自分たちの住むまちをより良いものにしていくために、町内会活動への参加という一歩を踏み出してみませんか。

## 町内会長に聞いてみました 「みんなで支える、住みよいまち」



幾寅地区連合町内会長  
幾寅西町町内会長  
西山 雅明さん

Q1・町内会とはどのような役割を持つ団体ですか。

町内会は、地域に住む皆さんが安心して暮らせるよう、環境整備や防災・防犯活動、行事の運営などを行う住民組織です。行政と地域をつなぐ架け橋の役割も担っており、日常生活の中で困ったことや要望を共有し、解決につなげる大切な存在だと考えています。

Q2・普段はどのような活動を行っているのでしょうか。

ごみステーションの管理、防災訓練の実施、回覧板による情報共有などを行っています。また、地域行事や交流会を通して、住民同士の顔が見える関係づくりにも取り組んでいます。

Q3・町内会に加入すると、どのようなメリットがありますか。

一番のメリットは、いざという時に助け合える「つながり」ができることです。災害時や緊急時には、日頃から顔を知っている関係が大きな力になります。また、地域の情報が早く届き、暮らしに役立つ支援や取り組みに参加しやすくなります。

Q4・防災や防犯の面で、町内会はどんな役割を果たしていますか。

防災訓練などを通じて、地域全体の安全を守っています。特に災害時は、町内会を単位とした安否確認や支援が重要になります。平成28年8月の災害時も町内会のご近所ご近所同士で助け合いました。日頃からの備えが、安心につながると考えています。

Q5・町内会活動を通して「やっていて良かった」と感じる瞬間はどんな時ですか。

住民同士が声を掛け合い、助け合っている姿を見たときですね。役員になってからは、人とのふれあいや顔なじみが増えました。地域のつながりは、何よりの財産だと思います。

Q6・これからの町内会を、どのような存在にしていきたいですか。

行政とともにまちを盛り上げたいです。また、誰もが気軽に「入って良かった」と思ってもらえる町内会を目指したいです。若い世代や新しく転入された方の意見も取り入れながら、時代に合った町内会にしていきたいですね。

Q7・町内会加入を検討している方へ、メッセージをお願いします。

町内会は特別な人だけのものではありません。地域で暮らす一人ひとりが支え合うための場です。無理のない形で構いませんので、ぜひ一度、町内会活動に目を向けていただければと思います。

### ★町内会に参加しませんか？

町内会は、地域の見守りや防災、行事の開催など、日々の暮らしを支える大切な役割を担っています。顔の見える関係づくりが、安心・安全な地域につながります。

加入についてのお問い合わせは、企画課広報統計係（☎521115）へご連絡ください。

## 町内会の主な活動

### 安心な暮らしを地域みんなで守る



防災訓練の実施や安否確認、避難時の声かけなど、災害時に地域で協力し合う「共助」を担う重要な役割があります。

### 生活環境の維持・美化



ごみステーションの管理や清掃活動、環境美化への取り組みなど、快適な生活環境を保つための活動を行っています。

## 今年度のまちづくり予算の概要

令和8年度の一般会計予算額は39億1,602万3千円〔前年度より12億6,972万3千円(24.5%)の減〕、4特別会計の合計は7億5,121万3千円〔前年度より2,251万5千円(2.9%)の減〕、簡易水道事業会計は2億5,522万1千円〔前年度より5,422万8千円(17.5%)の減〕、公共下水道事業会計は2億1,754万円〔前年度より8,472万7千円(28.0%)の減〕となり、総額は前年度より14億3,119万3千円(21.8%)減少の51億3,999万7千円となりました。

一般会計が大幅に減少した理由は、財政的な大型事業を盛り込んでいない骨格予算となっていることによります。

特別会計においては、国民健康保険事業は納付金の減少、後期高齢者医療事業は納付金の増加、介護保険事業は保険給付費が減少、町立診療所事業は一般管理費の減少により前年度を下回る予算規模となっております。

また、公営企業会計においては、簡易水道事業では骨格予算に伴い幾寅地区機械計装設備更新事業の減により資本的支出が減少し、前年度を下回る予算規模、公共下水道事業につきましても骨格予算に伴い南富良野浄化センター外更新事業の減により資本的支出が減少したことにより前年度を下回る予算規模となり、予算計上予算総額は前年度を下回る予算規模となりました。

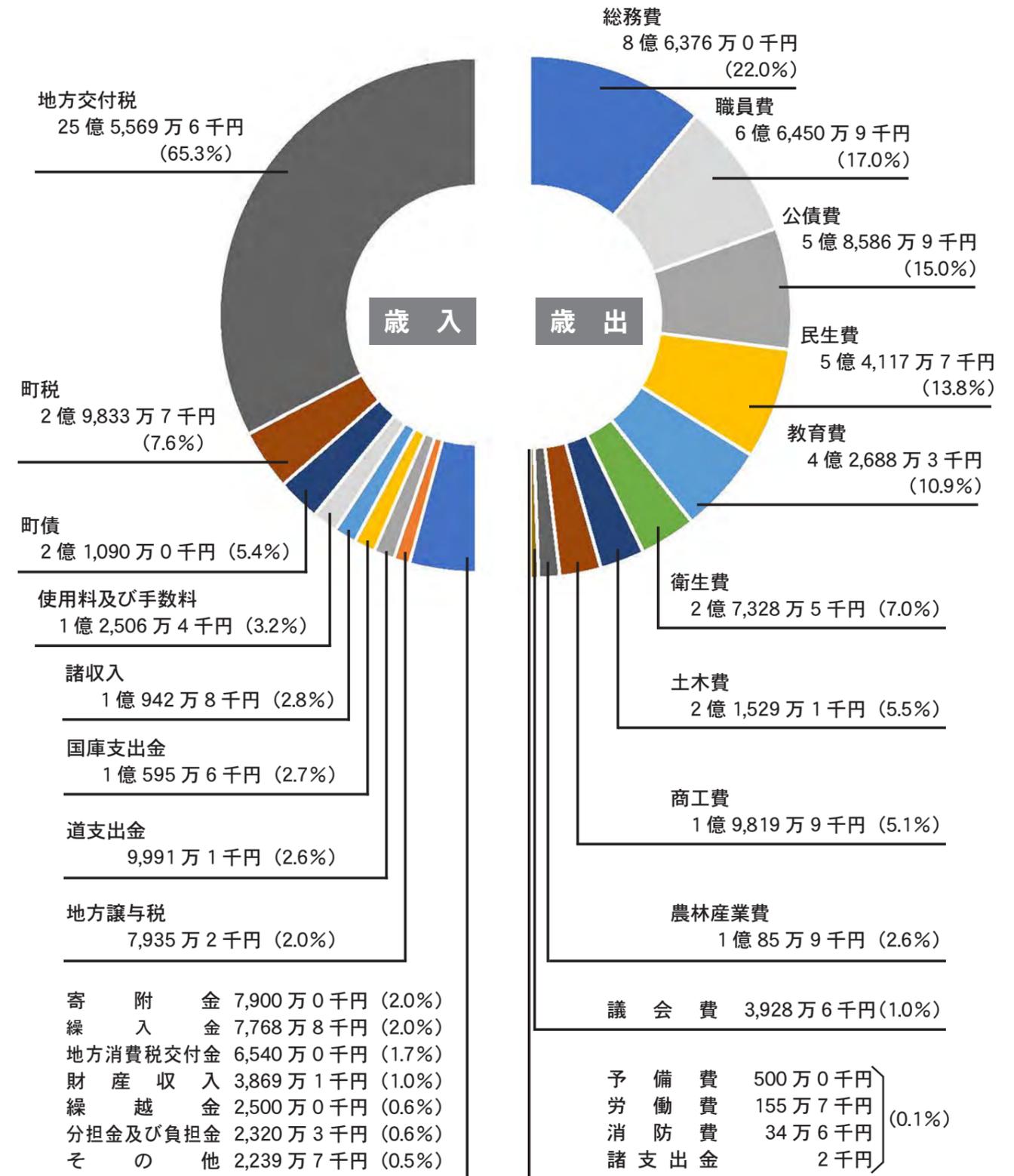
会計名	予算額	前年度からの増減額	増減率	
一般会計	39億1,602万3千円	△12億6,972万3千円	△24.5%	
特別会計	国民健康保険事業特別会計	2億9,291万5千円	△103万2千円	△0.4%
	後期高齢者医療事業特別会計	6,342万2千円	1,608万3千円	34.0%
	介護保険特別会計	2億9,946万0千円	△1,996万2千円	△6.2%
	町立診療所事業特別会計	9,541万6千円	△1,760万4千円	△15.6%
公営企業会計	簡易水道事業会計	2億5,522万1千円	△5,422万8千円	△17.5%
	公共下水道事業会計	2億1,754万0千円	△8,472万7千円	△28.0%
全会計の総額	51億3,999万7千円	△14億3,119万3千円	△21.8%	

## 主な使い道

- ひ熊及び鹿捕獲奨励金
- 金山小果樹農園管理費
- 電気牧柵管理業務委託事業
- 串内草地牧場運営費負担金
- 水源林整備事業
- 町有林整備事業
- 商工振興事業補助金
- 町融資利子補給金・保証料補給金
- かなやま湖湖水まつり開催費負担金
- 各観光施設運営費
- 各種住民健診・予防接種事業
- 広域救急医療対策事業分担金
- すこやか子ども医療費助成費
- 産後ケア事業
- 出産・子育て応援支援金
- 社会福祉協議会補助金
- 居宅介護サービス事業補助金
- 保育所・子育て支援センター運営費
- 在宅福祉事業
- 小・中学校スクールバス運行事業
- 学校給食費助成事業
- 高等学校就学支援補助金
- 高等学校学生寮管理費
- 学校給食センター運営費負担金
- 沖縄県本部町親善交流事業
- 体育施設管理運営費
- 交通安全・防犯・防災関係対策費
- 消防運営費負担金
- 公営住宅維持管理経費
- 町道維持補修費
- 町道除排雪経費
- ごみ処理事業
- 富良野衛生センター運営費負担金
- 町営バス運行事業
- デマンドバス運行事業
- 広報紙制作費
- 情報通信基盤施設維持管理経費
- 行政事務協力交付金
- まちづくり地域活性化交付金
- 地域おこし協力隊活用推進事業
- 職員給与費
- 議会運営費
- ネットワーク基盤構築業務委託事業
- 行政事務関連経費
- イトウ保護調査研究事業
- 借入金の返済経費

# 令和8年度 予算のあらまし

## 一般会計予算額 39億1,602万3千円



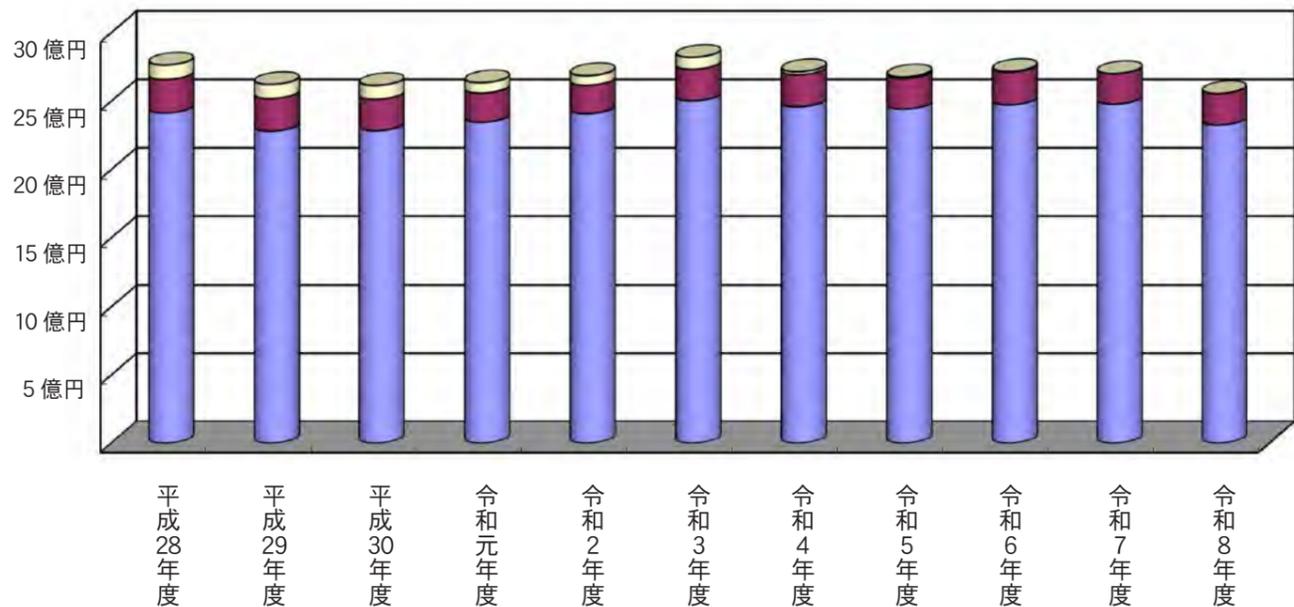
## 地方交付税の推移

歳入予算の6割を占める地方交付税は、全国画一の算定方法で算出される「普通交付税」と各市町村の特殊事情や災害発生などにより算定される「特別交付税」とに区分して交付されています。

これら地方交付税のうち普通交付税については、物価高騰や人件費の上昇分への対応分等が計上されており、令和5年度から令和7年度までは微増傾向にありますが町の厳しい財政運営に変わりはありません。

地方交付税と臨時財政対策債の推移

■ 普通交付税 ■ 特別交付税 ■ 臨時財政対策債

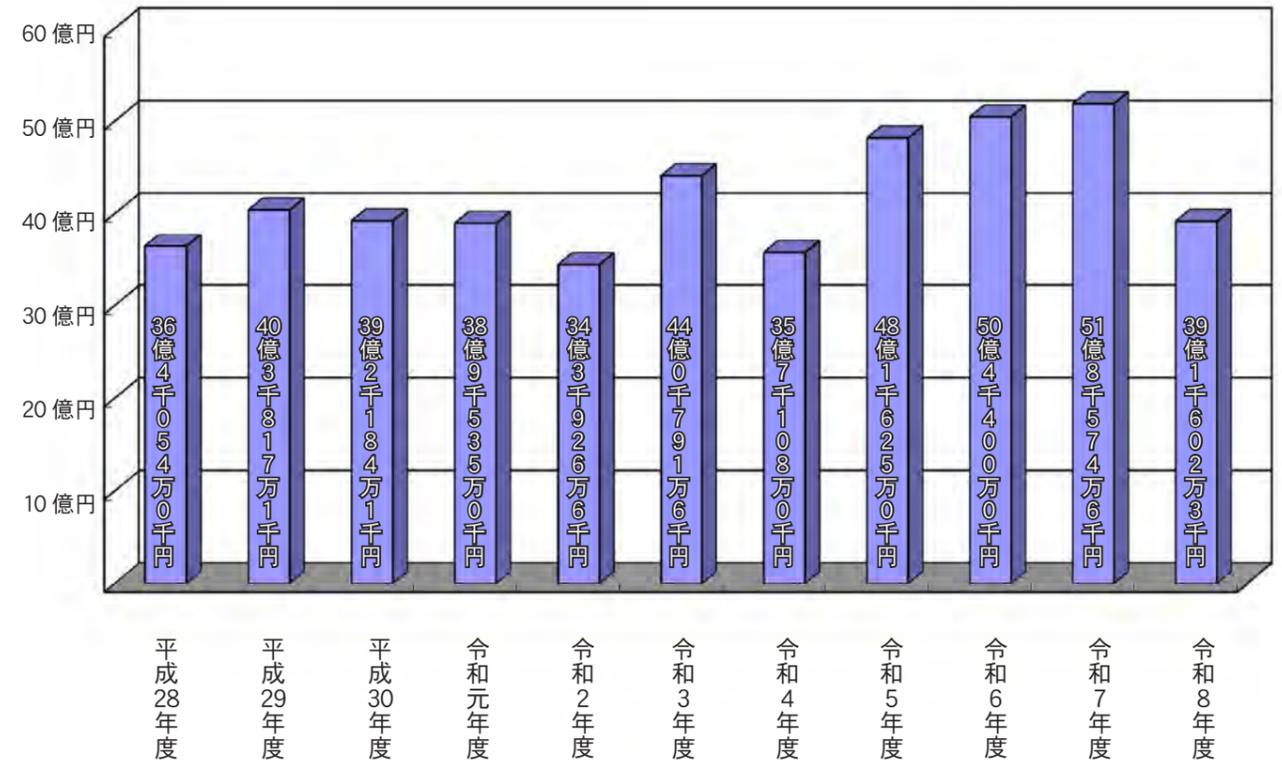


(単位：千円)

年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
普通交付税	2,413,285	2,280,884	2,283,387	2,346,415	2,407,926	2,502,194	2,458,648	2,441,324	2,473,009	2,420,792	2,325,696
特別交付税	244,846	238,348	230,502	212,867	207,004	230,488	234,471	224,836	223,000	223,000	230,000
臨時財政対策債	105,506	102,435	100,242	75,475	70,933	87,331	21,970	9,921	4,713	0	0
計	2,763,637	2,621,667	2,614,131	2,634,757	2,685,863	2,820,013	2,715,089	2,676,081	2,700,722	2,643,792	2,555,696

(注) 令和7年度までは実績額 (ただし、7年度の特別交付税は予算計上額) 8年度は予算額

## 年度別予算規模の推移 (一般会計の当初予算額)

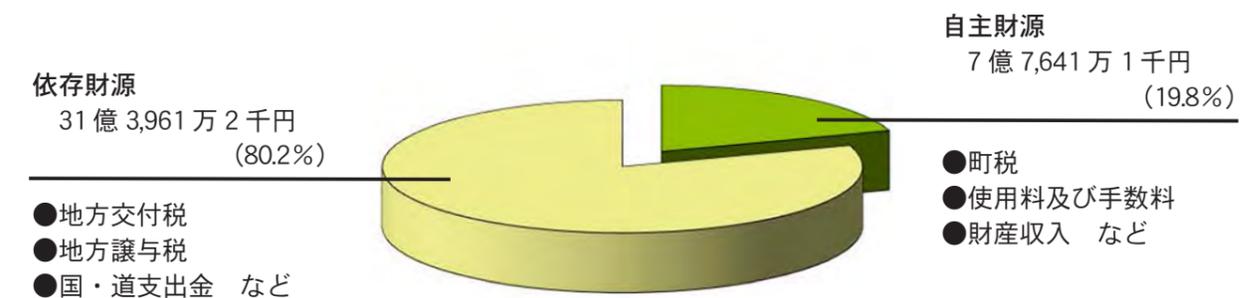


## 依存型の財源構造

歳入のうち、町税や使用料・手数料などの自主財源の割合が低く、地方交付税や補助金など国や道から交付される財源に大きく依存しています。

このため、国や道の財政事情や制度改正などにより、町の財政運営が大きく影響を受けることになります。

令和8年度は地方交付税の減額が予想されることから、基金を取り崩しての予算編成となります。



## 長年の隊務協力に感謝 酒井議長に感謝状贈呈

町議会議長 酒井年夫氏が、平成29年3月の富良野地方自衛隊協力会南富良野支部設立以来、同支部理事として隊務運営に多大な貢献をされたことから、陸上自衛隊上富良野駐屯地滝口和男第14施設群長より感謝状が贈呈されました。

酒井議長は、南富良野支部理事として、地域と自衛隊との連携強化を目的に、各種行事や支部活動の円滑な運営に尽力されてきました。今回の感謝状は、これまでの長年にわたる継続的な協力と功績が高く評価されたものです。

感謝状を受け取った酒井議長は、「このような感謝状をいただき、大変光栄に思います。これまで関わってこられた多くの皆さまのご理解とご協力があったからこそ活動できました。今後も地域と自衛隊との架け橋として、微力ながら努めていきたいと思えます」と話されました。



滝口第14施設群長（左）と酒井議長（右）

## 南富フーズ株式会社が 北海道知事感謝状を受賞

南富フーズ株式会社（糠谷雄次代表取締役）が、エゾシカ対策に関する功績が認められ、北海道知事感謝状（エゾシカ対策功労）を受賞しました。

同社は、平成19年の設立以来、エゾシカを地域資源として活用する取り組みを続け、食肉加工やペットフード生産を通じて、エゾシカ肉の普及と有効活用に貢献してきました。

また、捕獲事業への協力や鳥獣被害対策への参画など、地域と連携した活動が高く評価され、持続可能な地域づくりに大きく寄与しています。

受賞した糠谷社長は、「エゾシカ肉の普及拡大には、まだまだ可能性を感じています。



糠谷社長（中央）  
上川総合振興局長（左）・岩淵副町長（右）

今年はエゾシカ肉に加えて、熊肉の販売を展開したいと思っています。今後も有効活用事業に取り組んで参りたいです」と話されました。

## 地方自治の発展に尽力 故大宮光明氏が特別叙勲を受章

永年にわたり町の行政運営に携わり、地方自治の発展や地域福祉の向上に尽力された功績が認められ、故 大宮光明氏が特別叙勲（瑞宝双光章）を受章されました。3月18日に、高橋町長から奥様の愛子さんへ伝達されました。

大宮氏は、昭和43年に町役場に奉職され、出納室長や企画商工課長などを歴任し、平成16年に教育長平成17年に助役、平成19年からは副町長として2期8年にわたり町政運営の中枢を担いました。地方分権改革や少子高齢化が進む中、行財政改革を推進し、効率的な行政運営の実現に努められました。また、高速インターネットの整備やテレビ難視聴地域の解消など、生活基盤の充実に大きく貢献され学校施設の整備や教育活動の推進など、多方面で町の発展に寄与されました。



奥様の愛子さん

今回の受章は、こうした永年の功績が高く評価されたものです。伝達式で奥様の愛子さんは、「受章に際して胸がいっぱいです。本人も喜んでくれてると思います」と故人を偲びながらお礼を述べられました。

## カーリングミックスダブルス選手権 森・阿部ペアが道大会で3位入賞

2月5日から8日にかけて、妹背牛町カーリングホールで「第19回北海道ミックスダブルスカーリング選手権大会」が開催されました。大会には道内各地から強豪20ペアが出場する中、町内出身の森・阿部ペアが健闘し、見事3位に入賞しました。

森夢香さんは札幌国際大学2年生、阿部悠翔さんは南富良野高等学校2年生でペア結成4年目となります。

離れた環境や学業などで揃って練習できる時間が限られる中でも、息の合ったプレーで勝ち



2人の挑戦はまだまだ続きます

進み、好成績を収めました。

3位が決まった瞬間、2人は「上位2チームが出場できる全国大会を逃したことは悔しかったですが、2人で協力して戦えたことが、次への自信につながりました」と振り返りました。一方で、「この結果に満足はしていません」と、さらなる成長への強い意欲のぞかせます。

今大会をもって今シーズンのミックスダブルスは一旦終了となりますが、2人の挑戦は続きます。次こそは全国大会出場を目標に、町内出身ペアは新たな一歩を踏み出します。



3位入賞を果たした  
森（右）・阿部（左）ペア

## 全国大会への挑戦 スキージュニアオリンピックカップに出場

南富良小学校6年生の小柴美空さんと、南富良野中学校1年生の小林慶大さんが、3月24日から上士幌町で開催された「ジュニアオリンピックカップ2026全日本ジュニアスキー選手権大会」に出場しました。

両選手は、これまでに行われた各選考レースにおいて好成績を収め、獲得ポイントにより大会出場の切符をつかみました。日頃から積み重ねてきた練習の成果が実を結び、全国大会への出場が決定しました。



鈴木教育長に出場報告しました

全国から実力ある選手が集う本大会は、ジュニア世代にとって大きな舞台となります。大舞台での経験は、今後の競技力向上に向けた貴重な一歩となることと期待されます。

3月12日には鈴木教育長に出場の報告を行い、小林さんは「応援してくれる方の期待に応えたい。北海道代表を胸にベストを尽くしたい」、小柴さんは「支えてくれる人たちへ感謝の気持ちを忘れず、結果で恩返しをしたい」と意気込みを語りました。



小柴美空さん（左）・小林慶大さん（右）

# 町議会定例会

## 行政報告。教育行政報告

令和8年3月5日に開催されました第1回定例会において、高橋町長が2件の行政報告と鈴木教育長が2件の教育行政報告を行いましたので、内容についてお伝えします。

### 行政報告



#### 産業課関連

■国営農地再編整備事業  
富良野南富地区について  
国営農地再編整備事業に  
ついては、富良野市山部地

区と本町下金山地区の1、916ヘクタールを対象に農地の区画整理に取り組み、国営事業により地区内を一体的に整備するため、平成29年12月18日に空知川上流土地改良区より事業実施に向けた要望を受けるところであります。

この間、旭川開発建設部、JAふらの、空知川上流土地改良区、富良野市及び南富良野町の関係者により令和3年3月8日に「国営事業富良野南富地区事業本部促進期成会」を設立し、事業の整備内容や地区認定に向けた取り組み、事業要望活動を進めてきたところ、令和8年度北海道開発予算

案に富良野南富地区事業が採択されました。

本町下金山地区の受益農業者数は18戸、受益面積は210ヘクタールで、田寄せ、畑寄せによる土地利用の再編整備や暗渠、除礫工などの整備を計画しており、標準区画として、田では0.3ヘクタールから1.8ヘクタール、畑では0.6ヘクタールから7.3ヘクタールを基準とし、ほ場の大区画化を進め、事業期間中は概ね15年間、総事業費約71億4700万円です。自治体負担4%、受益者負担2.7%となっております。

町といたしましては、この事業により農地の集積、区画の大規模化が進められ、高収益作物の導入や排水対策による収益の向上、大型農業機械やスマート農業導入による農作業の効率化、省力化、持続的で安定した農業経営が図られるものと考えており、今後も関係機関及び農業者と連携し事業

#### 企画課関連

■国設南富良野スキー場第2リフトの運行中止について

今シーズンの南富良野スキー場については、昨年12月20日にオープンいたしましたが、降雪による融雪の影響により翌21日から一時閉鎖を余儀なくされました。その後、本年1月6日に再開し、町民の皆様をはじめ多くのお客様にご利用いただいているところでもあります。

しかしながら去る1月27日、第2リフト第10号支柱において、索条（ワイヤー）の脱索が発生し直ちにリフトの運行を停止し、索条の復旧作業を行いました。その後、索道設備メーカーによる調査を実施いたしました。現在のところ脱索の原因は特定されておりません。第2リフトは運行開始か

の推進を図ってまいります。



国設南ふらのスキー場

ら45年が経過しており、老朽化が著しく、再度、脱索発生のリスクが高いことから、安全性の確保を最優先とし今シーズンの第2リフトの運行を中止することといたしました。

現在、第1リフトのみでスキー場の営業を継続しており利用者の皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解賜りますようお願いいたします。

今後、リフトの更新につきましては、議会やスキー場利用者などのご意見をいただきながら進めてまいります。

### 教育行政報告



■本部町親善交流事業（冬の北海道体験の翼）について

1月26日から1月30日にかけて、本部町親善交流事業（冬の北海道体験の翼）を実施し、本部町より児童16名、随員6名の計22名が本町を訪れました。

当初予定しておりました夕食歓迎会は、大雪の影響により利用予定便が欠航し、振替便の到着地が、とち帯広空港となったことで到着が大幅に遅れたため、や

むを得ず中止とさせていただきますました。一行は、とち帯広空港に降り立った後、初日の午後10時過ぎにマリオットホテルに到着しました。

2日目以降の行程は予定どおり実施することができ、学校での交流学习をはじめ、わかさぎ釣りやスキー、カーリングなど、冬の北海道ならではの体験を通じて、参加児童の皆さんに貴重な体験と心に残る思い出を作っていたいただいたものと感じております。

また、本年度も各家庭へのホームステイを行い、北



カーリング体験の様子

海道の生活習慣や風土など、沖縄との違いも経験いたしました。ご協力をいただきました保護者の皆様には、心よりお礼申し上げます。

今後、この交流にとどまることなく、個人的な交流も継続していくことを期待するものであります。

さらに、「いも団子」などの郷土料理やスキー体験での昼食として「鹿肉カレー」の提供に幾度婦人会の皆さん、スキー体験の指導にご尽力いただいた、南富良野スキー指導員会の皆さんをはじめ、例年多くの町民の皆さまにご協力をいただき、心から感謝とお礼を申し上げます。

■南富良野高等学校の事務事業等について  
令和8年度南富良野高等学校への出願につきまして、募集人員40名に対し22名となり、内訳では地元南富良野中学校から4名、富良野沿線から7名、旭川市

や札幌市及び近郊から7名、その他地域から4名となりました。

卒業式につきましては、予定どおり3月1日に開催し、来賓や保護者、在校生などの参加をいただき、卒業生12名の門出をお祝いいたしました。

卒業生の進路につきましては、進学は9名で、国立大学に1名、公立大学に1名、4年制私立大学に4名、専門学校に3名が合格いたしました。就職は1名で道内の民間企業に内定しております。

部活動につきましては、カーリング部が12月5日から7日まで北見市常呂町で開催された全道高等学校カーリング選手権大会に男女各1チームがそれぞれ出場しました。結果は男子・女子チームともに予選リーグ敗退となりましたが、最後まで粘り強く最終ショットまで勝敗が分からない白熱した試合も経験し、男女



売り上げの一部を寄附したボランティア同好会と三枝会長

ともに、これからの活動につながる大会となりました。

また、ボランティア同好会では、町内で捕らえられた鹿の角を使用した魚釣り用の「タモ」を製作し、南富良野町振興公社を通じて、道の駅南ふらので販売しておりますが、イトウの保全活動に役立てていただくため、2月5日「ソラプチ・イトウの会」へ、売上金の一部を寄付いたしました。ボランティア同好会では、この活動を通じて引き続き、イトウの保全とともに町の活性化に繋げる活動を実施していきます。

# 学び舎に別れを告げ、新たなステージへ

3月1日の南富良野高等学校の卒業式を皮切りに、町内の小中学校において卒業式が執り行われました。式典には、保護者や教職員をはじめ、多くの来賓が出席し、卒業生一人ひとりの門出を温かく見守りました。当日は、各学校長から合わせて36名の児童・生徒に卒業証書が手渡され、会場は厳粛な中にも感動的な雰囲気に包まれました。

卒業生たちは、友人や先生との思い出が詰まった学び舎に別れを告げ、それぞれ新たな一歩を踏み出しました。

南富良野小学校 第12回卒業証書授与式 卒業生13名（3月19日）



南富良野高等学校 第74回卒業証書授与式 卒業生12名（3月1日）

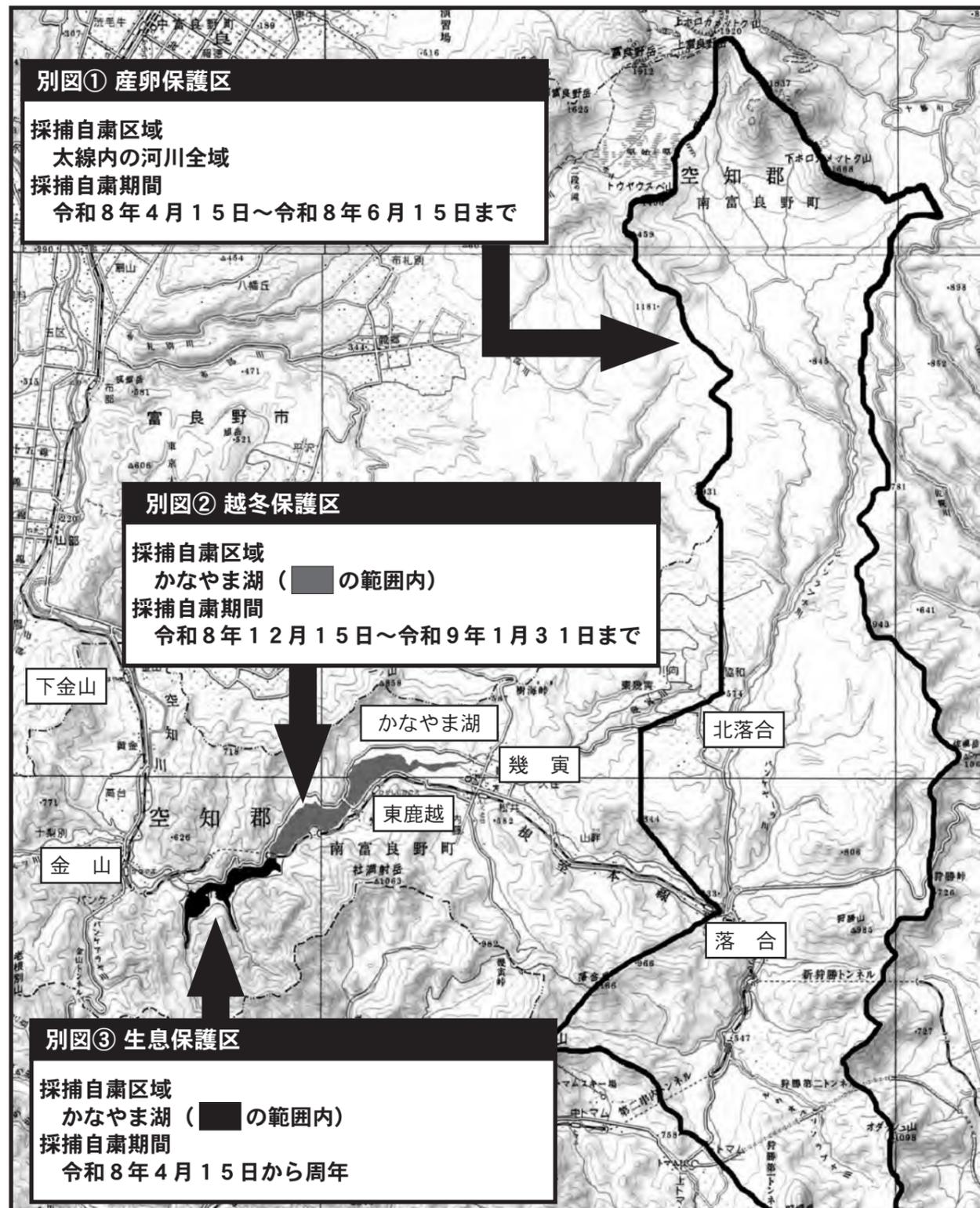


南富良野西小学校 第10回卒業証書授与式 卒業生4名（3月19日）



南富良野中学校 第21回卒業証書授与式 卒業生7名（3月12日）





**別図① 産卵保護区**

採捕自粛区域  
太線内の河川全域  
採捕自粛期間  
令和8年4月15日～令和8年6月15日まで

**別図② 越冬保護区**

採捕自粛区域  
かなやま湖 (太線の範囲内)  
採捕自粛期間  
令和8年12月15日～令和9年1月31日まで

**別図③ 生息保護区**

採捕自粛区域  
かなやま湖 (太線の範囲内)  
採捕自粛期間  
令和8年4月15日から周年

**「南富良野町イトウ保護管理条例」に関する問い合わせ先**

南富良野町教育委員会生涯学習係

電話：0167-52-2145 FAX：0167-52-3079

Email：kyoisyougai@town.minamifurano.hokkaido.jp

※イトウ保護管理に関する事項は、町ホームページにも随時掲載し、お知らせします。町ホームページ：http://www.town.minamifurano.hokkaido.jp



▲町ホームページ

**今年もイトウの保護区域が指定されました**

町民や遊魚を楽しむ皆様の手で大切な資源「イトウ」を次代に残しましょう!!

「南富良野町イトウ保護管理条例」に基づき、南富良野町イトウ保護管理審議会（江戸 謙顕 委員長）が3月19日に開催され、イトウ保護区の指定などについて審議を行い、高橋町長に意見書が提出されました。町では、審議会の意見を踏まえて、採捕自粛を求めるイトウ保護区の設定について決定しましたので、その内容についてお知らせします。

**1. イトウの産卵期における保護区の指定**

- ・保護の目的 イトウの産卵期による、イトウの保護管理を図る種の保存対策として産卵保護区を設定し採捕（※1）の自粛をお願いいたします。
- ・自粛の区域 南富良野町字落合の北落合橋より上流の空知川水系全域【別図①の産卵保護区】
- ・自粛の期間 令和8年4月15日～令和8年6月15日まで
- ・自粛の対象種 全ての魚類

**2. 越冬期間における越冬保護区の指定**

- ・保護の目的 越冬期間における、イトウ個体の保護管理を図る種の保存対策として越冬保護区を設定し採捕（※1）の自粛をお願いいたします。
- ・自粛の区域 かなやま湖全域（但し、生息保護区の区域を除く）【別図②の越冬保護区】
- ・自粛の期間 令和8年12月15日～令和9年1月31日まで
- ・自粛の対象種 イトウ

**3. 周年における生息保護区の指定**

- ・保護の目的 イトウ個体の生息を周年で保護すること及び釣り場の安全を確保することを目的として生息保護区を設定し採捕（※1）の自粛をお願いいたします。
- ・自粛の区域 かなやま湖上を横断する、JR金山湖橋梁より下流の金山ダム堰堤に至る間で囲まれた区域。【別図③の生息保護区】
- ・自粛の期間 令和8年4月15日から周年
- ・自粛の対象種 全ての魚類

（※1）採捕とは、水生動物の生きている個体の捕獲及び水生動物の生きている卵の採取をいいます。

**4. 特定移入動物の指定**

- ・自粛要請する特定移入動物  
イトウの資源を保護することを目的として、次の魚類を特定移入動物として指定しますので、下記の区域へ放つことの自粛をお願いいたします。  
ニジマス、サクラマス（ヤマベ）、サツキマス（アマゴ）、イトウ（南富良野地域以外から持ち込まれたイトウ）  
※上記の水生動物は卵を含み、生きているものに限る。
- ・自粛要請する期間 令和8年4月15日から周年
- ・自粛要請する区域 金山ダムより上流のかなやま湖及び町内空知川水系全域（全ての支流・分流を含む）

※ 以下の生物は移植放流が禁止されています。

- ① 北海道内水面漁業調整規則による  
ブラウントラウト・カムルチー（雷魚）・カワマス
- ② 外来生物法  
ウチダザリガニ・ブルーギル・オオクチバス・コクチバスなど

本町の大切な資源「イトウ」を次代に繋ぐため、皆様のご協力をお願いします。



## 地域おこし協力隊活動記 27

本町では、9名の「地域おこし協力隊」が町の振興や発展のため活動しています。その活動内容や様子を町民の皆さんに紹介します。

ゆきのともやす  
雪野 智靖 隊員（観光推進業務員）

町民の皆様、いつもお世話になっております。まちづくり観光協会の雪野です。

なんぶに来てから10か月が経ちました。この1年弱で自分が町にどれだけ貢献できているのか、少しでも良い影響を与えられているのかと不安になることもあります。まずは目の前のことに全力で向き合い、残り2か月を走り切ろうと思っています。私事ですが、この冬は趣味であるスキーも存分に楽しみました。仕事前にバックカントリーへ行き、仕事後にはナイターへ向かう……。山に囲まれた南富良野だからこそできる暮らしに、改めてこの町の魅力を感じています。

2月には、観光協会主催のイベント「かなやま湖アイスキャンドルナイト」を開催しました。企画段階から当日の運営まで携わり、当日は町内外から多くの方にお越しいただき、昨年以上のにぎわいとなりました。観光協会は少人数の体制ですので、関係団体の皆さまや地域の方々の支えがあってこそ成り立つイベントだと実感しています。だからこそ「観光協会にはいつも助けられているから、手伝うよ」と言っていただけの組織・自分でありたいと思います。

実は、観光協会の公式SNSは私が担当しており、週5回の投稿を目標に、これまで累計250件以上の発信を行ってきました。ありがたいことに現在は月間アクセス数が平均20万人規模まで伸び、町外から南富良野を知っていただく機会が少しずつ増えてきています。（※町民の皆さま、ぜひフォローをお願いします。雪野がとても喜びます。）投稿の内容に悩む日もありますが、「この町の魅力は何だろう」「訪れる人は何を求めているのだろうか」と考えながら、日々カメラを持って町を歩いています。最近、自分なりにこの町の魅力は何なのか、整理できてきた気がします！

年度が替わると、移住生活も2年目に入ります。「地域おこし協力隊」という名前のおり、自分の活動を通してどれだけの方がこの町を訪れてくれたのかを大切にしながら、これからも挑戦を続けていきたいと思っています。見かけた際はぜひ気軽に声をかけていただけるとうれしいです。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



大好きなスキーで冬を満喫しています

## 新しい地域おこし協力隊 「松前 秀雄さん」が着任されました!!

3月1日付けで「南富良野町社会福祉協議会事務局支援業務員」として、松前秀雄さんが着任されたので、ご紹介します。



「南富良野町社会福祉協議会事務局支援業務員」松前 秀雄

- 出身地 長崎県島原市
- 趣味 旅、お酒、(若いころはオートバイ、登山)
- 町民の皆さんへ

初めまして。3月1日に地域おこし協力隊として着任いたしました松前秀雄と申します。長年民間企業で経理業務に従事しておりましたがこの度、ご縁があり南富良野町で勤務させて頂くことになりました。北海道の地は社会人の新人時代に5年連続で約半月の夏季休暇で道内をバイクで走り回っており、いつかは住んでみたいという希望をもっておりました。

気持ちは若く保ちつつ、自分自身の生活を楽しみながら、町の皆様のお役に少しでも立てるよう頑張る所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係（☎52-2115）（FAX 52-2922）までお知らせください。

## カメラレポート CAMERA REPORT

### 訓練の成果をゲレンデで披露 第14施設群がスキー競技会を実施 (3月8日)

陸上自衛隊上富良野駐屯地第14施設群によるスキー競技会が、国設南ふらのスキー場で行われました。

この競技会は、日頃の訓練で培ってきた技術や行動力を発揮するとともに、上官自衛官が総合的に評価することを目的に実施されたものです。

当日は、暖気の影響によりゲレンデはアイスバーンとなり、厳しいコンディションの中での競技となりました。参加した隊員たちは、悪戦苦闘しながらも果敢に挑み、これまで積み重ねてきた訓練の成果を存分に発揮しました。



### 3年ぶりに熱戦 排球連盟杯町民ミニバレーボール大会 (3月8日)

町排球連盟主催による「第5回排球連盟杯町民ミニバレーボール大会」が、町民体育館で3年ぶりに開催されました。

当日は、6チームが参加し、2ブロックに分かれて予選リーグを行った後、決勝トーナメントが行われました。コートでは、チームワークを生かしたラリーや白熱したプレーが次々と繰り広げられ、会場は大きな声援と熱気に包まれました。

久しぶりの開催とあって、参加者は仲間との再会やプレーを楽しみながら、真剣勝負に挑み、世代を超えた交流の場ともなりました。



### 国際交流派遣事業 南富良野高校生が教育長を表敬訪問 (3月16日)

国際交流派遣事業に参加する南富良野高等学校の佐藤和音さん、草野敦さん、佐藤美七海さんが、鈴木教育長を表敬訪問し、ニュージーランド留学に向けた抱負を述べました。

鈴木教育長は、「多くの人たちと交流し、さまざまなことを学んでほしい。留学後には、その貴重な体験を地域や後輩たちに還元してほしい」と激励の言葉を贈りました。

留学は3月25日から4月5日までの12日間、ニュージーランドの首都ウェリントンで研修が行われます。

生徒たちは、「日本とは異なる文化や価値観、教育環境について学びたい」などと意欲を語っていました。



# 南富高新聞

第107号  
発行  
南富良野高等学校



希望を胸に、12名が次のステージへ  
南富良野高校第74回卒業証書授与式が、3月1日、本校体育館において挙行されました。晴れやかな表情と緊張の面持ちが入り混じる中、12名の卒業生が学び舎を巣立ち、新たな未来へと歩み出しました。式典には、高橋秀樹町長をはじめ、多くの来賓の皆様にご臨席いただき、卒業生の門出を温かく見守つ

ていただきました。保護者、在校生、教職員が一堂に会し、会場は卒業生一人ひとりの成長をたたえる、厳粛で心温まる雰囲気になりました。澤向亮賢校長より卒業生一人ひとりに証書が手渡されました。校長式辞では、「南富良野高校での学びを通して培った人とのつながりや、挑戦する心を忘れず、それぞれの場所で自分の可能性を信じて歩んでほしい」と、卒業生への深い期待と励ましの言葉が送られました。在校生を代表して阿部悠翔さんが送辞を述べ、学校生活や行事を通して先輩方から学んだ姿勢や思い出に触れながら、感謝と激励の気持ちを伝えました。これに答え、卒業生代表の秋田俊也さんが答辞を述べ、仲間と過ごした日々や数多くの経験を振り返りながら、支えてくれた教職員や家族への感謝とともに、それぞれの進路に向けた決意を力強く語りました。本卒業式を無事に挙行することができましたのも、日頃より本校の教育活動を温かく見守り、ご支援を賜っている地域の皆様をはじめ、関係するすべての方々のお力添えによるものと、心より感謝申し上げます。今後とも南富良野高校への変わりぬご支援をお願い申し上げます。

## シリーズ 学校だより 238

各学校の取り組みを紹介します。

### ▶▶▶南富良野小学校▶▶▶



南富良野町ならではの冬の体験活動

南富良野小学校の冬の活動を紹介します。2月18日、5年生は総合的な学習の時間に「南富良野の冬を楽しくもう」の学習として、かなやま湖でわかさぎ釣りを体験しました。当日、氷の上のテントの中で、釣りがスタートしました。えさの虫を前に、「うわあ...」と手が止まる子も。触ることに苦戦しながらも、自分でやってみようとする姿が印象的でした。なかなか釣れない時間もありましたが、釣れた人も釣れなかった人も、最後まであきらめ

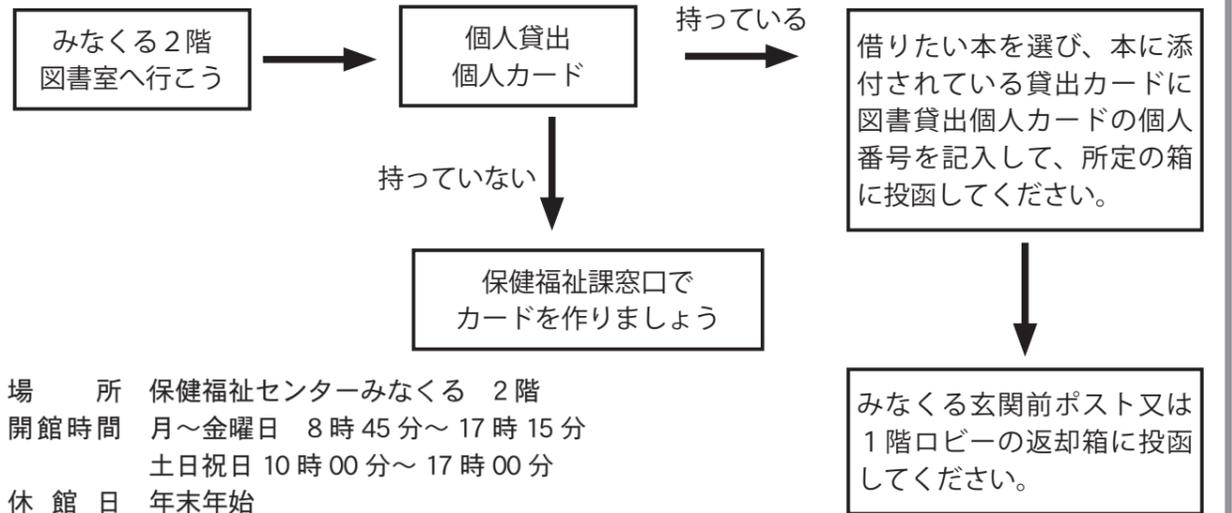


ずに挑戦していました。釣り終了後は、自分たちが釣ったわかさぎだけでなく、準備していたいたわかさぎも一緒に、全員でいただきました。頑張った後にみんなで食べるわかさぎは格別で、「おいしい!」と笑顔が広がりました。この他に、2月24日には1年生が冬の校外学習、6年生がスノーシュー体験をどんころ野外学校様のご協力のもと実施しました。南富良野の自然、そして地域の方々に支えられながら学習できることに心から感謝しています。

# 教育委員会通信

総務係・生涯学習係  
☎52-2145

## 図書室で本を借りてみませんか？



- 場 所 保健福祉センターみなくる 2階
- 開館時間 月～金曜日 8時45分～17時15分  
土日祝日 10時00分～17時00分
- 休館日 年末年始
- その他

読みたい本が図書室にない場合、図書室内に設置してあるリクエストボックスに読みたい本の題名等を記入し投函するか、町HPの公民館図書館のページにあるリクエスト申込みフォームからお申込みください。

また、道立図書館から借りることができます。道立図書館から借りたい本があれば教育委員会へ連絡してください。

※道立図書館の蔵書は下記 URL または「北海道立図書館」で検索し確認できます。

北海道立図書館 HP → <https://www.library.pref.hokkaido.jp>

図書室では史跡についても紹介しておりますので、足を運んで南富良野町の歴史についても調べてみてくださいね

## 公民館図書館から新刊のご紹介

「図解 城の間取り」 日本史の謎検証委員会 著



日本の城の実態は、「間取り図」を見ればよくわかる。江戸時代の絵図や復元図を元に、各城の注目ポイントを紹介。天下人だからこそ実現できた豪華かつ堅牢な城、名城に施された仕掛けの数々、合戦における城の実力、城の経済面・生活面の影響などを、城を俯瞰しながらやさしく解説。城に秘められた驚きの仕掛けがわかる一冊。



「腹八分目」の生物学-健康長寿の食とはなにか 小幡 史明 著

「腹八分目」で育てたネズミは寿命がのびる—全てはそこから始まった。長寿の鍵となる栄養素はなにか。腹八分目で老化そのものも防げるのか。そして不老長寿の薬は... 発展著しいこのテーマを、気鋭の研究者が展望。「それでもお腹いっぱい食べたい」人々の切なる食欲にも向き合いつつ、健康長寿への飽くなき探究を描く。



これまでの新刊やおすすめ本はこちらから →

# 子育て支援センター「ぷっこ」だより

～☆☆明るく元気な子に育ちますように☆☆～

子育て支援センター ☎ 090-5985-4339

☎ 52-2315

いよいよ4月ですね。ご入学、進級おめでとうございます。早寝早起き、3食の食事をしっかり摂ることで、健康なからだづくりをし、お子さんが良いスタートを迎えられるように家族で応援しましょう。



☆ぷっこクラブ（豆まき会）

全員そろっての豆まき会。自分で作ったお面と豆入れを持って、赤鬼、青鬼を退治しました。



☆ぷっこクラブ（運動遊び）

親子で体を使ったふれあい遊びを、運動教室の先生に教えていただきました。



☆茶話会

落合の土屋夕子さんを招いて、クラフトテープ小物作りを体験。かわいい髪飾りができました。



☆スポーツ DAY

保護者の交流とストレス解消を目的にバドミントンやミニバレーで体を動かしました。

## 保育所の元気な子どもたち

### 幾寅保育所

雪中運動会があり、徒競走とお菓子取りの2競技を頑張りました。寒く、雪が降り続く中ではありますが、友達を応援したり、寒さに負けずに最後まで力を振り絞り頑張る姿がたくさん見られました!!心も体も温まる思い出深い行事となりました。



### 金山保育所

節分の日、朝からソワソワしている様子の子ども達。鬼の登場をドキドキしながら待っていました。いざ鬼が登場すると!!保育士のエプロンをぎゅっとつかみ、目からは涙も…。しかし鬼を退治しほっと一安心。やっと笑顔も見られ、そんな姿も思い出かな?とてもかわいい子ども達でした。



富良野消防署南富良野支署

☎ 52-2119 FAX 52-2979

✉ fs-nanpu@vesta.ocn.ne.jp

災害案内 ☎ 52-3119

# しょうぼう広報ほのお

## ❁ 春の全道火災予防運動が始まります!

全国統一防火標語 ～ 急ぐ日も 足止め火を止め 火の用心 ～

4月20日から4月30日の間、春の火災予防運動を実施します。

南富良野支署では、防火パレード、町内施設の立入検査及び模擬火災訓練などを実施します。

### ★防火パレード

消防車両にて町内全地区を巡回し、防火意識の高揚を図ります。

4月20日10時より一斉に開始します。



### ★防火対象物査察（立入検査）

建物の構造や消防設備、防火管理の状況を検査します。

火災予防運動期間内に実施し、対象施設には事前にお知らせします。

### ★模擬火災訓練

各地区において、火災が発生した想定でサイレンを吹鳴し放水訓練を行います。

実施する日時は決まり次第、チラシ等でお知らせします。

## 火災の原因について

令和6年、全国の総出火件数は、37,141件でした。これは平均すると1日あたり約101件火災が起きていることとなります。

火災による総死者数は、1,451人で、負傷者は、5,805人となっています。

近年では電気機器の火災が増えています。コンセントまわりやモバイルバッテリーの出火が多いため、もう一度ご自宅の電気機器を確認してみましょう!

順位	出荷原因	件数
1位	たばこ	3,058件
2位	焚き火	2,781件
3位	こんろ	2,718件
4位	電気機器	2,577件
5位	放火	2,377件

南富良野支署出動件数（令和8年1月1日～令和8年2月28日）

- 救急出動 19件（うちドクターヘリ要請件数 1件）
- 火災出動 0件（うち他市町村応援出動 0件）
- 救助出動 0件

## ★町内会に加入しましょう★

町内会は、住民みんなで協力して地域をより快適で住みやすくするための活動をしています。お祭りやゴミステーションの清掃、防災活動、そして子どもたちや高齢者のサポートまで、暮らしのあらゆる場面で関わっています。

町内会に参加することで 温かい人間関係が築けたり、地域の課題をみんなで解決できます。

地域の絆をさらに深め、より良いまちづくりにつながります！ぜひ町内会に加わってみませんか？



問い合わせ先：企画課広報統計係 ☎ 52 - 2115

## ごみの出し方についてのお願い

町役場では、ごみの収集を分別ごみごとに曜日を決めて収集しています。最近収集をしている中でごみ収集日を守られていない事例が散見しております。融雪期を迎えて、クマなどの野生動物にごみを荒らされることが考えられます。被害を未然に防ぐため、必ず指定された日の朝にごみステーションへ出してください。

ごみステーションは町と町民の方との共有施設です。

**STOP !! ごみの早出し !!**  
～ 皆様のご協力をお願いします ～

問い合わせ先：建設課環境衛生係 ☎ 52 - 2179



## 町ホームページで求人情報を掲載しています

町では、町職員（建築士）や会計年度任用職員をはじめ、さまざまな求人情報を町民の皆さまや移住希望者へ向けて町ホームページで紹介しています。

フルタイム／パートタイムの種別ごとに掲載していますので、お仕事をお探しの方はぜひご確認ください。

◎掲載場所 右記の二次元コードを読み込みご覧ください。  
町ホームページ>移住・定住情報>3. お仕事



## 寄附・寄贈

次の方々から寄附・寄贈がありました。皆様のご厚志に対し紙上をもつて厚くお礼申し上げます。

一味園・からまつ園・こぎくら園へ  
○ト マム 瀬 屑 文 郷 様  
○札 幌 市 内 田 美 江 様  
○幾 寅 川 村 政 廣 様  
○富良野市 織 田 馨 様

★お悔やみ申し上げます

幾 寅 乘 田 忠 彦 (89)

令和8年2月5日逝去

金 山 浅 井 リツ子 (94)

令和8年2月22日逝去

町 わたしたちのまち

(令和8年2月末日現在)

世帯数	人口	
	男	女
2	1,433人 (△8)	1,078人 (△5)
1	0,788人 (△5)	0,658人 (△3)
1	2,577戸 (△7)	

( ) 内は前月比